

平成 29 年度

区の施策検証等に向けた大田区民意識調査

(区内在住の 18 歳以上の方が対象)

(小学生以下の子の保護者の方が対象)

概要版

平成 30 年 3 月

大 田 区

■調査概要

調査対象

区内在住の18歳以上の方が対象
小学生以下の子の保護者の方対象

対象数

区内在住の18歳以上の方が対象：4,000人
小学生以下の子の保護者の方対象：2,000人

回収数

区内在住の18歳以上の方が対象：1,744件（郵送1,403件＋電子申請341件）
小学生以下の子の保護者の方対象：1,311件（郵送1,018件＋電子申請293件）

有効回収率

区内在住の18歳以上の方が対象：43.6%
小学生以下の子の保護者の方対象：65.6%

抽出方法：層化無作為抽出法

調査方法：配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式

■グラフの見方

- ・ nはその設問回答者数を表す。
- ・ 集計は小数点第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が100%を超える場合がある。

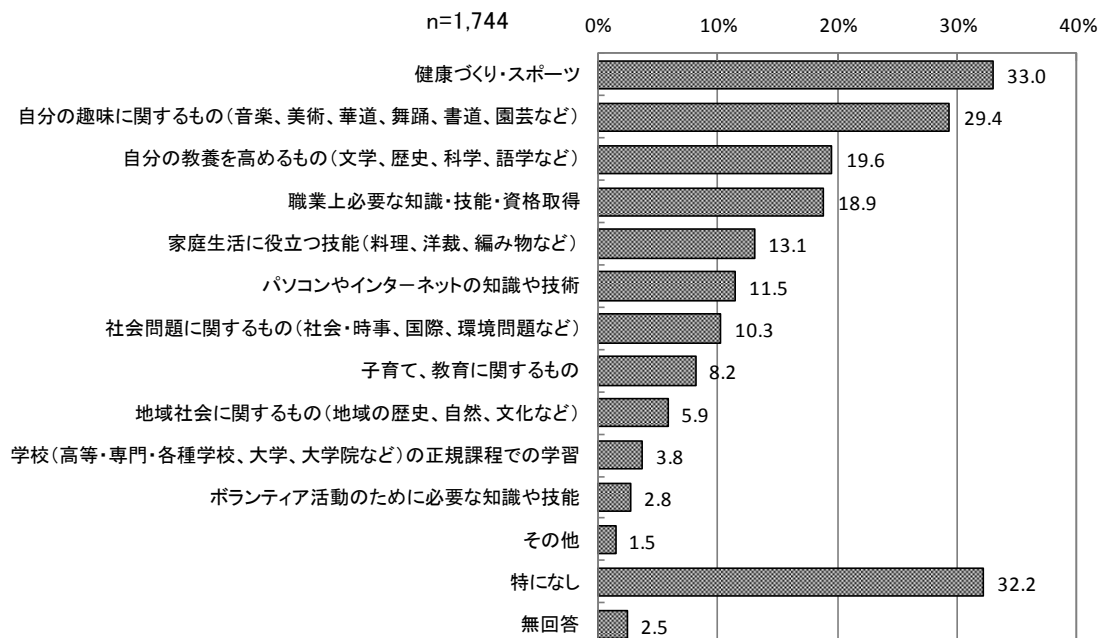
目次

[区内在住の18歳以上の方が対象]	P. 2
（1）生涯学習について	P. 2
（2）図書館の利用	P. 2
（3）地域活動	P. 3
（4）「オーちゃんネット」について	P. 4
（5）大田区立消費者生活センター	P. 4
（6）スポーツについて	P. 5
（7）自転車ナビマーク・自転車ナビライン	P. 6
（8）交通手段について	P. 8
（9）普段の買い物	P. 12
（10）かかりつけ医	P. 15
（11）文化・芸術	P. 16
[小学生以下の子の保護者の方対象]	P. 18
（1）子どもの遊び場について	P. 18
（2）放課後を過ごす公共施設	P. 20

「区内在住の18歳以上の方が対象」の調査結果

(1) 生涯学習について

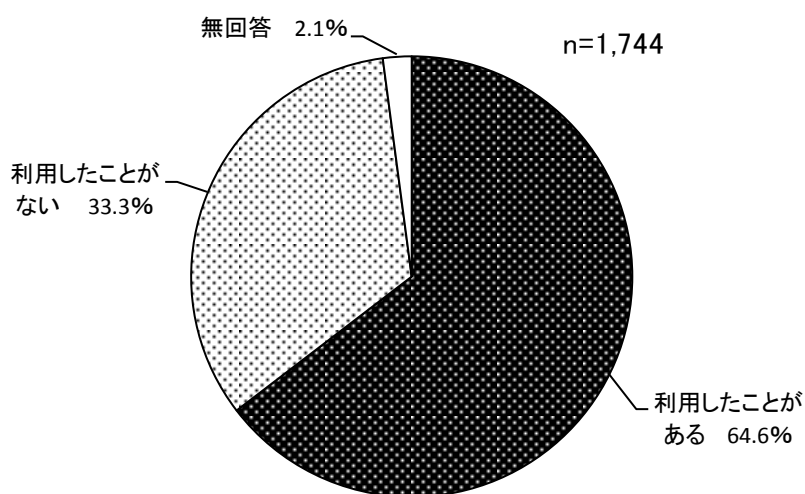
問1 あなたは最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(〇はいくつでも)



最近1年間の生涯学習について聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」が33.0%で最も高く、次いで「自分の趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(29.4%)、「自分の教養を高めるもの(文学、歴史、科学、語学など)」(19.6%)、「職業上必要な知識・技能・資格取得」(18.9%)となっている。一方で、「特になし」は32.2%となっている。

(2) 図書館の利用

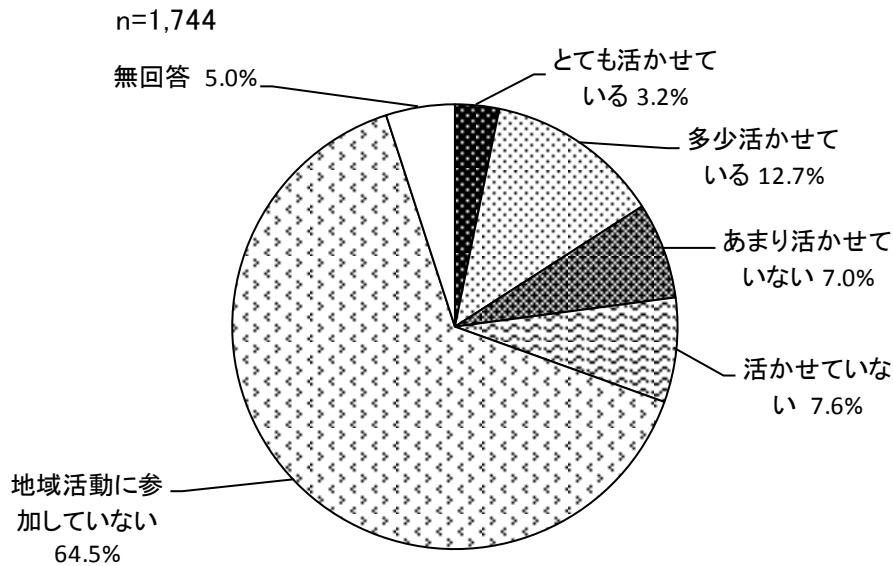
問2 あなたは区立図書館を利用したことがありますか。(〇は1つ)



区立図書館の利用の有無について聞いたところ、「利用したことがある」は64.6%、「利用したことがない」は33.3%となっている。

(3) 地域活動

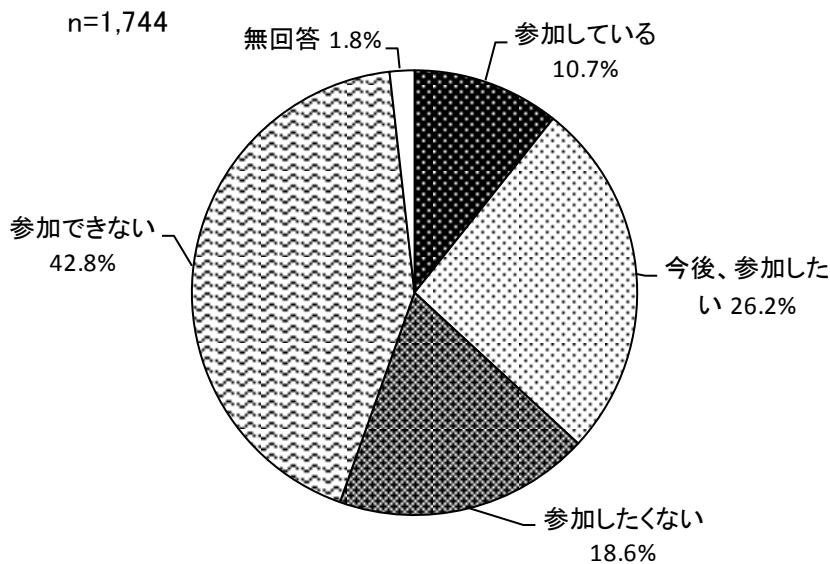
問3 あなたが参加している地域活動で、自身の知識や経験を活かしていると感じていますか。
(○は1つ)



参加している地域活動で自身の知識や経験を活かしているか聞いたところ、「多少活かしている」が12.7%で最も高く、次いで「活かしていない」(7.6%)、「あまり活かしていない」(7.0%)、「とても活かしている」(3.2%)となっており、「とても活かしている」と「多少活かしている」を合計した《活かしている》方の割合は15.9%となっている。

一方で、「地域活動に参加していない」は64.5%となっている。

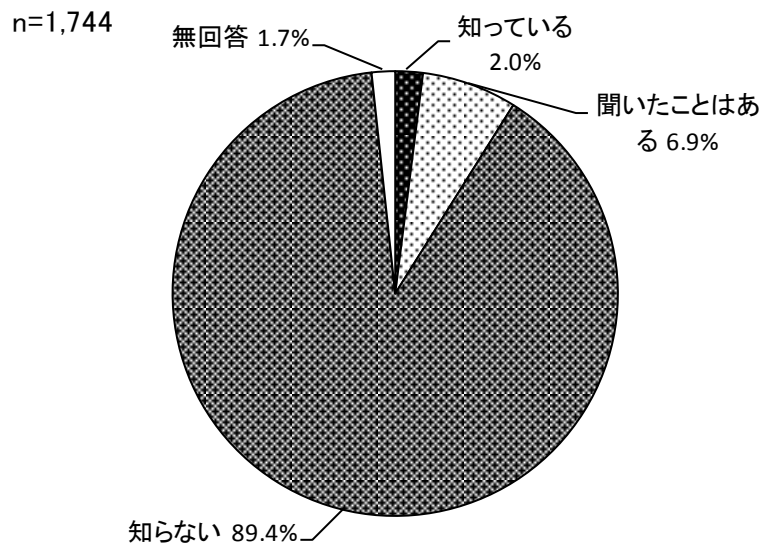
問4 あなたはボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に参加していますか。(○は1つ)



ボランティア活動や地域の人を支える活動の参加の有無について聞いたところ、「参加できない」が42.8%で最も高く、次いで「今後、参加したい」(26.2%)、「参加したくない」(18.6%)、「参加している」(10.7%)となっている。「参加している」と「今後、参加したい」を合計した《参加意向がある》方の割合は36.9%となっている。

(4) 「オーちゃんネット」について

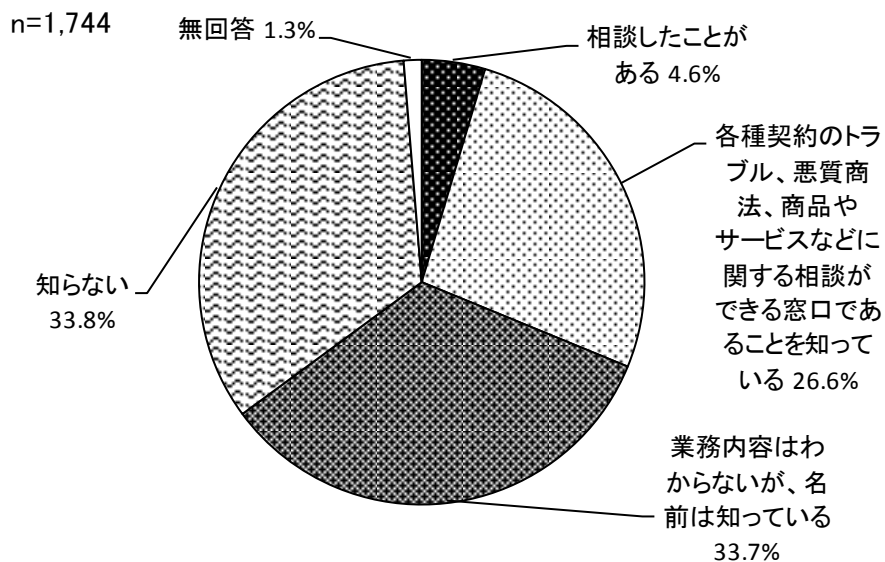
問5 イベントなどの地域活動の情報を発信する区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っていますか。(〇は1つ)



「オーちゃんネット」の認知について聞いたところ、「知っている」が2.0%、「聞いたことはある」が6.9%、「知らない」が89.4%となっている。

(5) 大田区立消費者生活センター

問6 あなたは大田区立消費者生活センターを知っていますか。(〇は1つ)

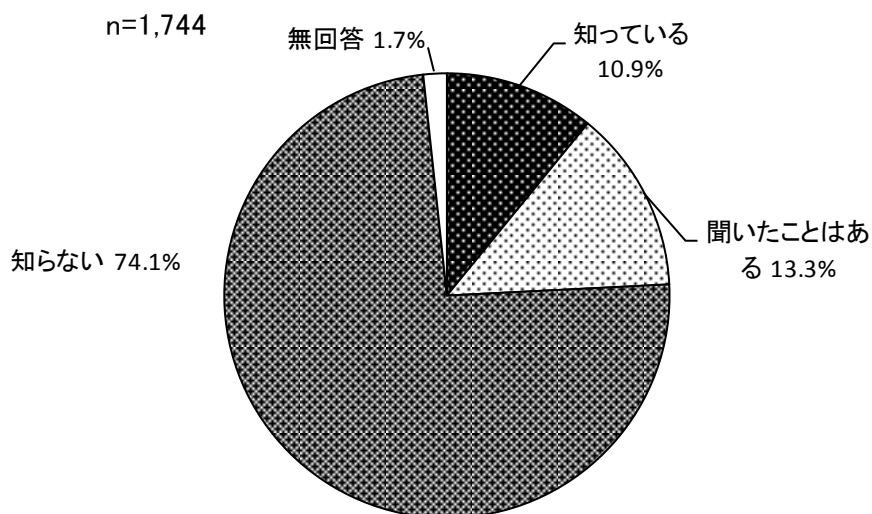


大田区立消費者生活センターの認知について聞いたところ、「相談したことがある」が4.6%、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が26.6%、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が33.7%となっており、これらを合計した《認知している》方の割合は64.9%となっていた。

一方で、「知らない」は33.8%となっている。

(6) スポーツについて

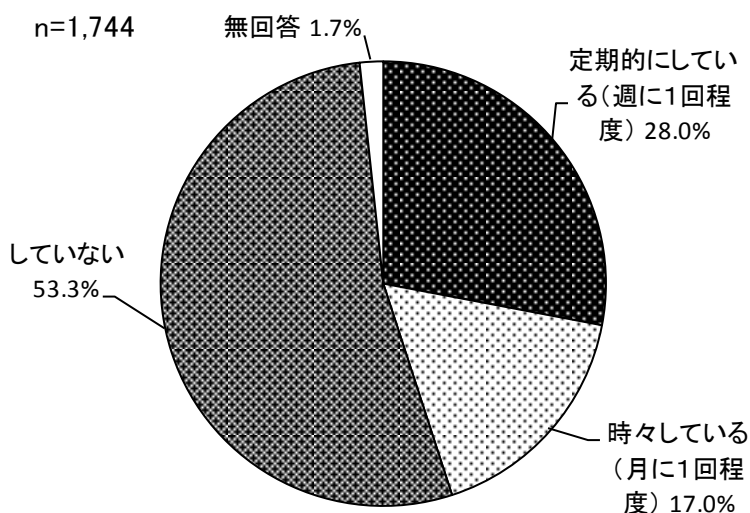
問7 あなたは身近な地域で子どもから高齢者までそれぞれの志向やレベルに合わせてスポーツに参加できる「総合型地域スポーツクラブ」が区内にあることを知っていますか。(〇は1つ)



「総合型地域スポーツクラブ」が区内にあることを認知しているか聞いたところ、「知っている」が10.9%、「聞いたことはある」が13.3%となっており、これらを合計した《認知している》方の割合は24.2%となっている。

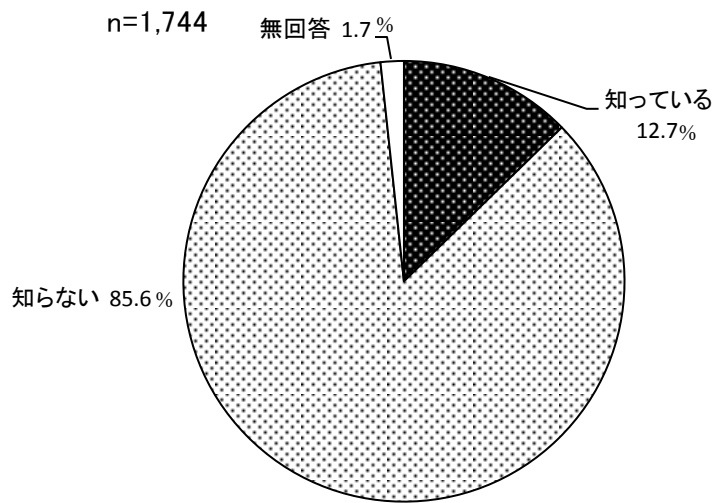
一方で、「知らない」は74.1%となっている。

問8 あなたは運動・スポーツ活動をしていますか。(〇は1つ)



運動・スポーツの実施の有無について聞いたところ、「定期的に行っている(週に1回程度)」が28.0%、「時々している(月に1回程度)」が17.0%、「していない」が53.3%となっており、「定期的に行っている(週に1回程度)」と「時々している(月に1回程度)」を合計した《している》方の割合は45.0%となっている。

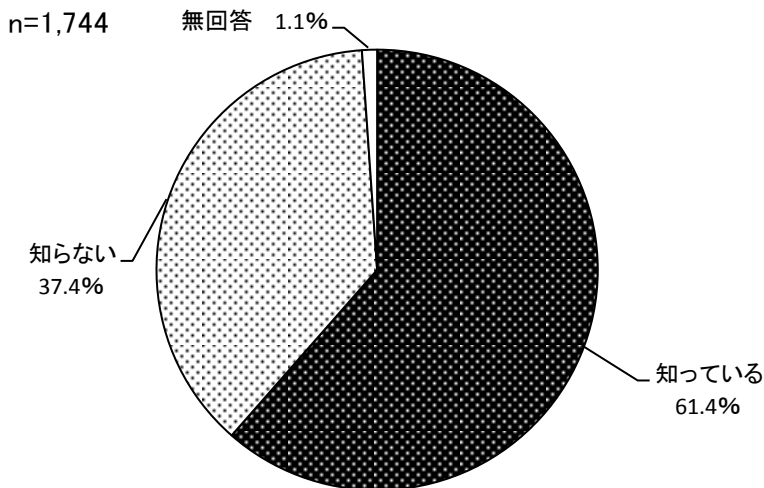
問9 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されることを知っていますか。(○は1つ)



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で大田区内で「ホッケー競技」が開催されることの認知について聞いたところ、「知っている」が12.7%、「知らない」が85.6%となっている。

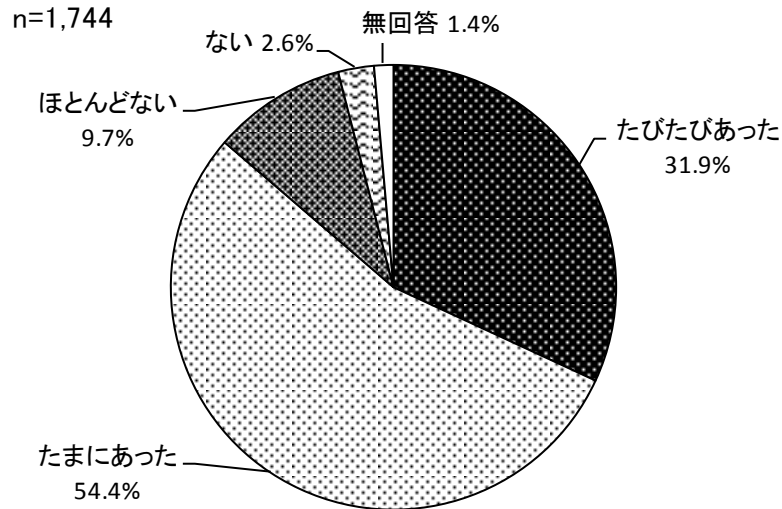
(7) 自転車ナビマーク・自転車ナビライン

問10 あなたは区内の道路に「自転車ナビマーク」「自転車ナビライン」が設置されていることを知っていますか。(○は1つ)



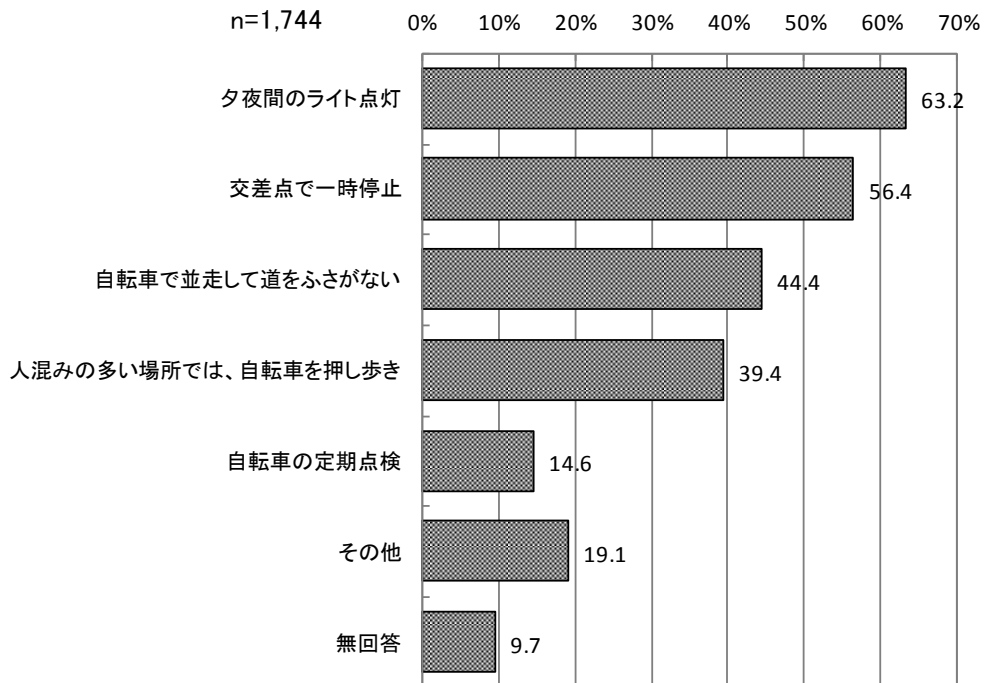
区内の道路に「自転車ナビマーク」や「自転車ナビライン」が設置されていることの認知について聞いたところ、「知っている」が61.4%、「知らない」が37.4%となっている。

問 11 あなたは歩行中や自転車・自動車等に乗車中、危険運転をする自転車にヒヤリとしたことがありますか。(○は1つ)



危険運転をする自転車にヒヤリとした経験があるか聞いたところ、「たびたびあった」が31.9%、「たまにあった」が54.4%となっており、ヒヤリとした経験が《あった》方の割合は86.3%となっている。

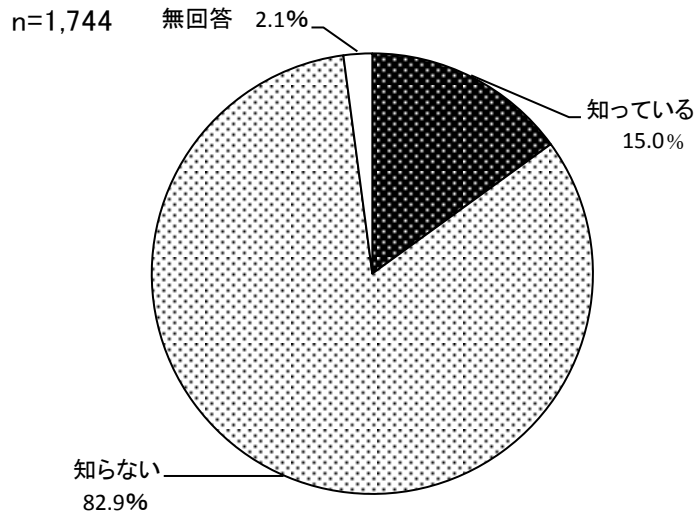
問 12 あなたは自転車を利用している際にどのようなことに気をつけていますか。(○はいくつでも)



自転車を利用する際に気をつけていることを聞いたところ、「夕夜間のライト点灯」が63.2%で最も高く、次いで「交差点で一時停止」(56.4%)、「自転車で並走して道をふさがらない」(44.4%)、「人混みの多い場所では、自転車を押し歩き」(39.4%)となっている。

「その他」では、『スピードを出さない』、『自転車保険に入る』などが回答されている。

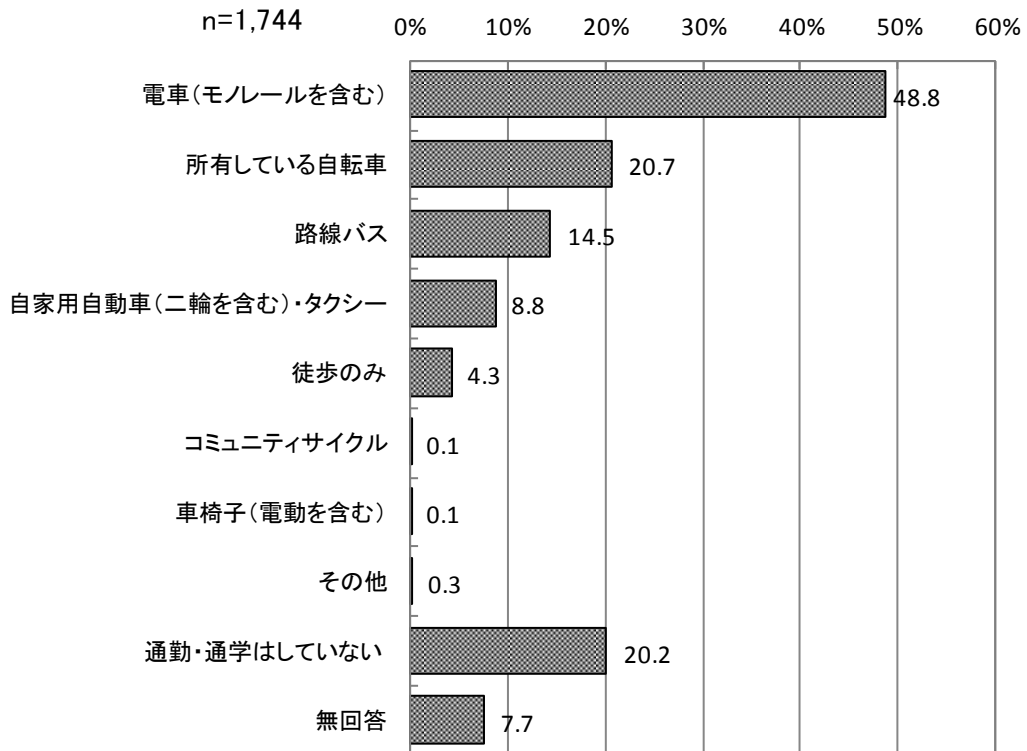
問 13 あなたは大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。



区内の「コミュニティサイクル」の運営の認知について聞いたところ、「知っている」が15.0%、「知らない」が82.9%となっている。

(8) 交通手段について

問 14 あなたが通勤・通学に使う交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

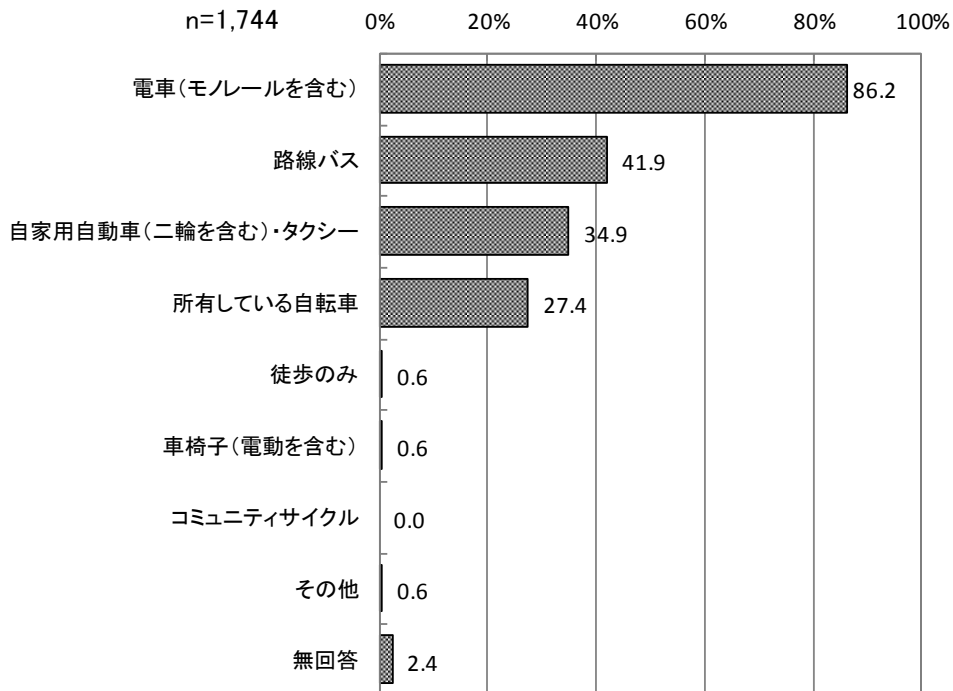


※「徒歩」は移動の途中は含まず、「徒歩のみ」として集計した。

通勤・通学に使う交通手段について聞いたところ、「電車(モノレールを含む)」が48.8%で最も高く、次いで「所有している自転車」(20.7%)、「路線バス」(14.5%)となっている。

一方で、「通勤・通学はしていない」は20.2%となっている。

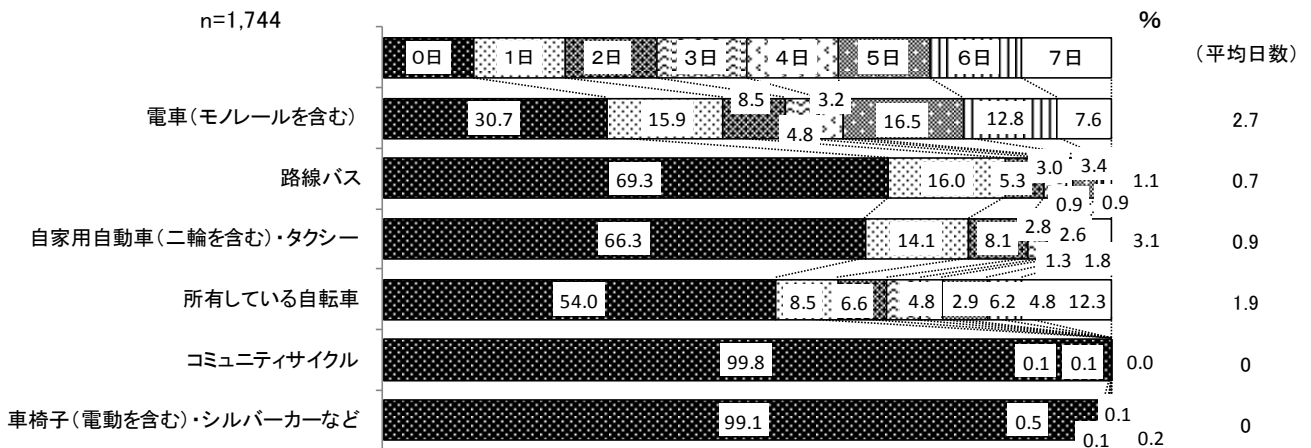
問 15 あなたが通勤・通学以外で都内（大田区以外の区）へ出かける際に使う交通手段は何ですか。（〇はいくつでも）



※「徒歩」は移動の途中は含まず、「徒歩のみ」として集計した。

通勤・通学以外で都内へ出かける際の交通手段について聞いたところ、「電車(モノレールを含む)」が86.2%で最も高く、次いで「路線バス」(41.9%)、「自家用自動車(二輪を含む)・タクシー」(34.9%)、「所有している自転車」(27.4%)となっている。

問 16 普段の生活をする一週間で、それぞれの交通手段を使用する頻度（日数）を教えてください。



1週間のうち、『電車（モノレールを含む）』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が30.7%で最も高く、次いで「5日」（16.5%）、「1日」（15.9%）となっており、平均は2.7日となっている。

1週間のうち、『路線バス』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が69.3%で最も高く、次いで「1日」（16.0%）、「2日」（5.3%）となっており、平均は0.7日となっている。

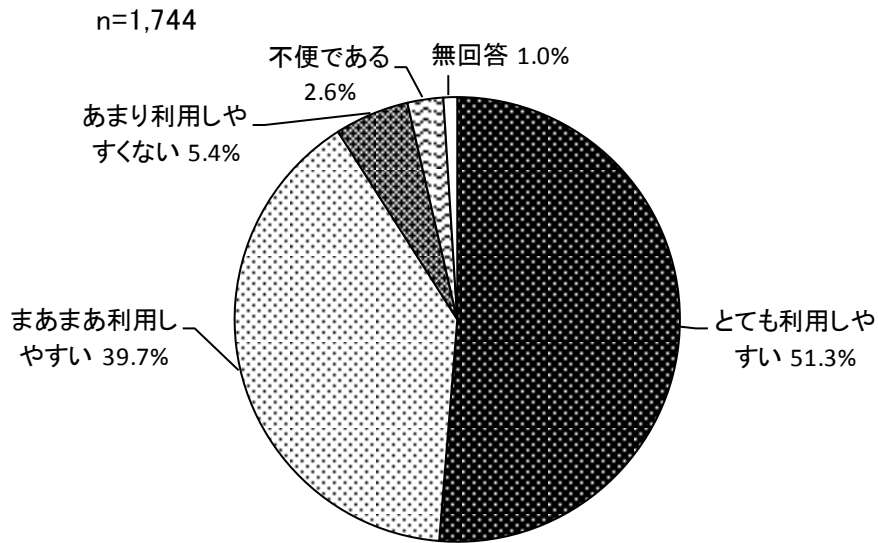
1週間のうち、『自家用自動車（二輪を含む）・タクシー』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が66.3%で最も高く、次いで「1日」（14.1%）、「2日」（8.1%）となっており、平均は0.9日となっている。

1週間のうち、『所有している自転車』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が54.0%で最も高く、次いで「7日」（12.3%）、「1日」（8.5%）となっており、平均は1.9日となっている。

1週間のうち、『コミュニティサイクル』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が99.8%で最も高く、次いで「1日」・「2日」（0.1%）となっており、平均は0日となっている。

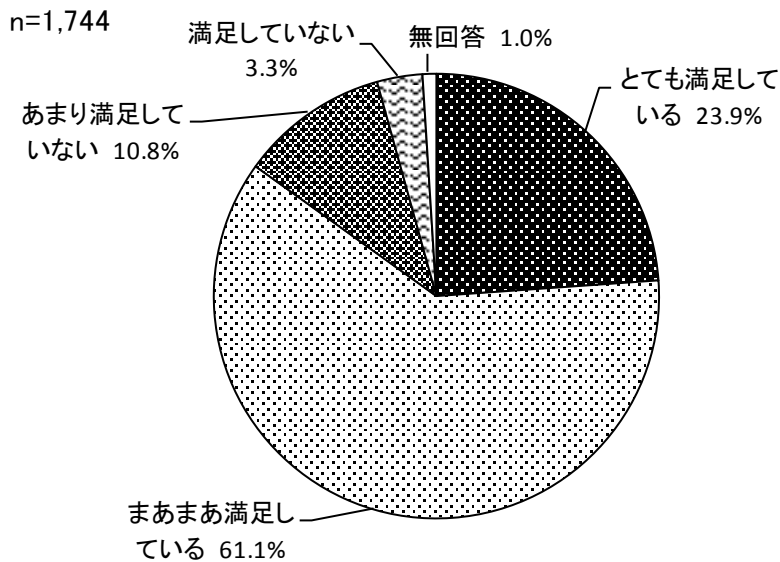
1週間のうち、『車椅子（電動を含む）・シルバーカーなど』を利用する頻度を聞いたところ、「0日」が99.1%で最も高く、次いで「1日」（0.5%）、「7日」（0.2%）となっており、平均は0日となっている。

問 17 あなたのご自宅の周辺は、近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(〇は1つ)



自宅周辺の公共交通機関の利用環境について聞いたところ、「とても利用しやすい」が51.3%、「まあまあ利用しやすい」が39.7%となっており、《利用しやすい》と回答した方の割合は91.0%となっている。

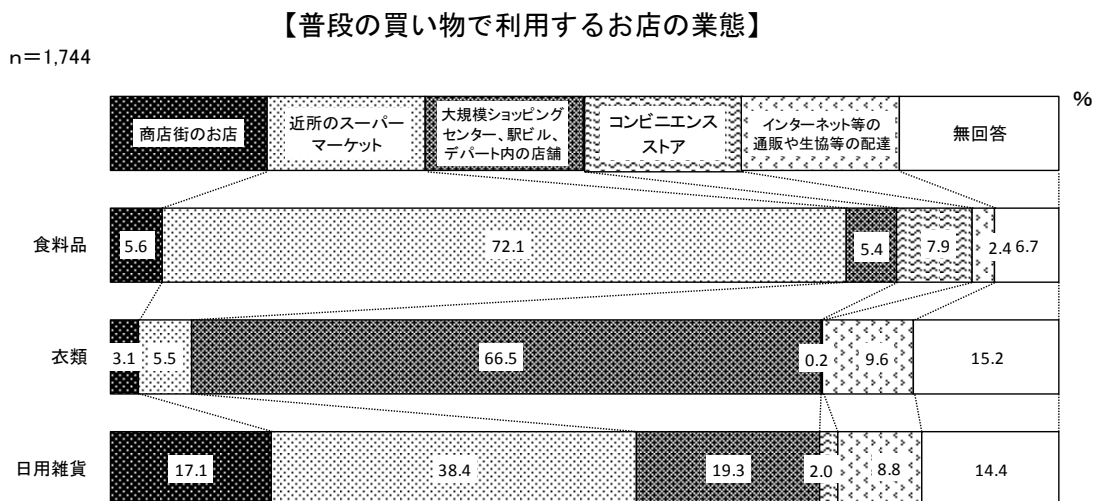
問 18 大田区内の公共交通網（電車・バスなど）に満足していますか。(〇は1つ)



区内の公共交通網についての満足度を聞いたところ、「とても満足している」が23.9%、「まあまあ満足している」が61.1%となっており、《満足している》方の割合は85.0%となっている。

(9) 普段の買い物

問 19 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態とその理由をそれぞれ選択肢から1つ選んでください。



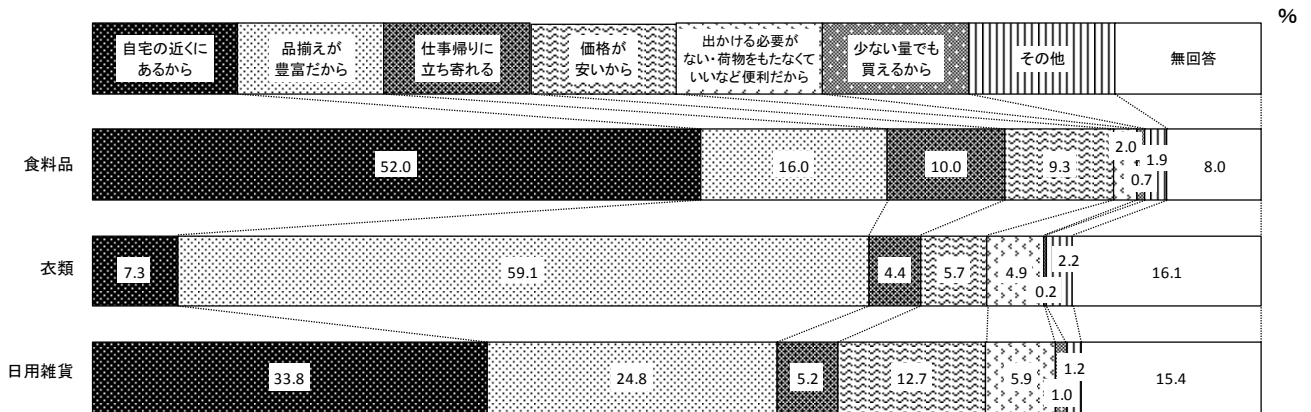
食料品を普段買うお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が72.1%で最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(7.9%)、「商店街のお店」(5.6%)、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(5.4%)となっている。

衣類を普段買うお店の業態を聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が66.5%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」(9.6%)、「近所のスーパーマーケット」(5.5%)となっている。

日用雑貨を普段買うお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が38.4%で最も高く、次いで「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(19.3%)、「商店街のお店」(17.1%)となっている。

【普段の買い物で利用するお店の理由】

n=1,744

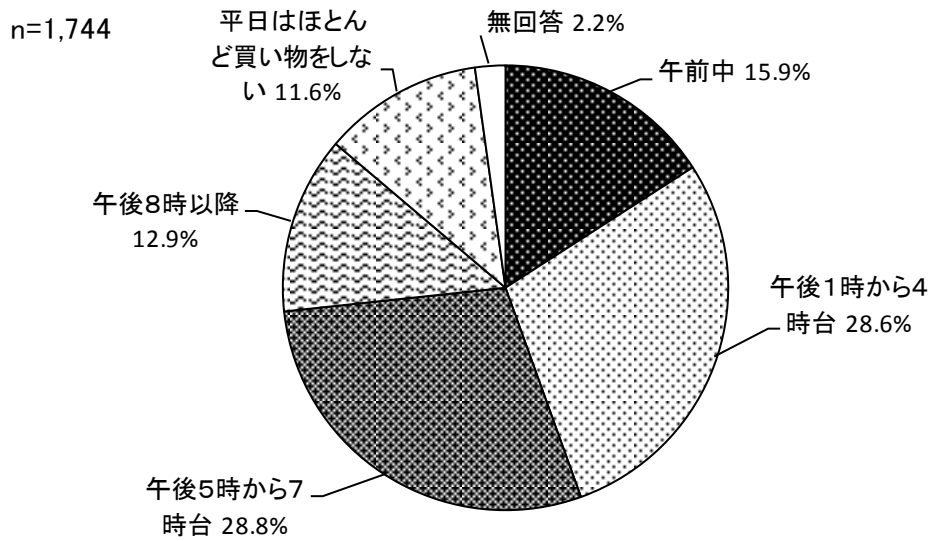


食料品を普段買うお店の理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が52.0%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(16.0%)、「仕事帰りに立ち寄れる」(10.0%)、「価格が安いから」(9.3%)となっている。

衣類を普段買うお店の理由について聞いたところ、「品揃えが豊富だから」が59.1%で最も高く、次いで「自宅の近くにあるから」(7.3%)、「価格が安いから」(5.7%)、「出かける必要がない・荷物をもたなくていいなど便利だから」(4.9%)となっている。

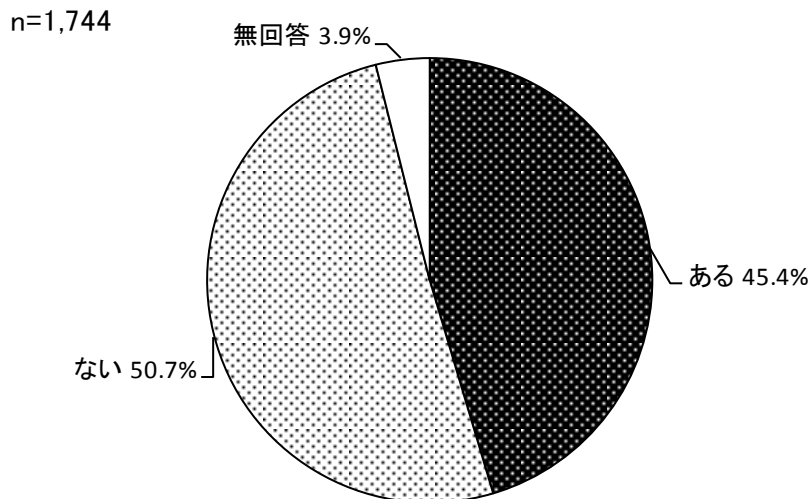
日用雑貨を普段買うお店の理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が33.8%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(24.8%)、「価格が安いから」(12.7%)となっている。

問 20 平日に食料品や日用品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。(〇は1つ)



平日の買い物をする時間帯を聞いたところ、「午後5時から7時台」が28.8%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」(28.6%)となっており、午後1時から午後7時台で過半数を占めている。

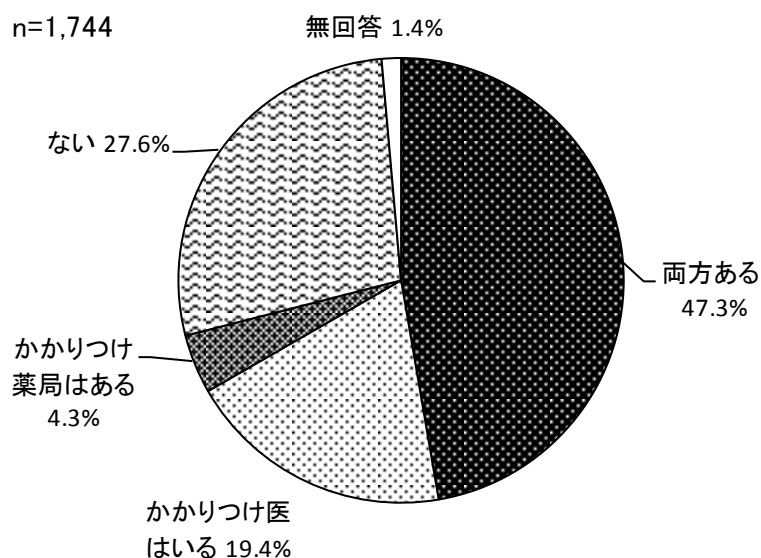
問 21 お住まいの近くにあるお店で、「他人に自慢したい」「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。(〇は1つ)



他人に自慢したい、今後もずっと残ってほしいと思うお店の有無について聞いたところ、「ある」が45.4%、「ない」が50.7%となっている。

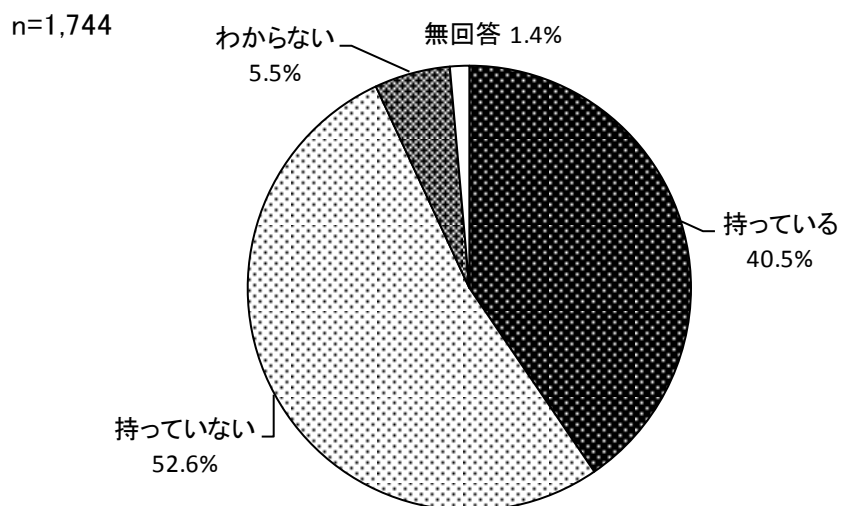
(10) かかりつけ医

問 22 あなたはかかりつけ医やかかりつけ薬局はありますか。(〇は1つ)



かかりつけ医やかかりつけ薬局の有無について聞いたところ、「両方ある」が47.3%で最も高く、次いで「ない」(27.6%)、「かかりつけ医はいる」(19.4%)、「かかりつけ薬局はある」(4.3%)となっている。

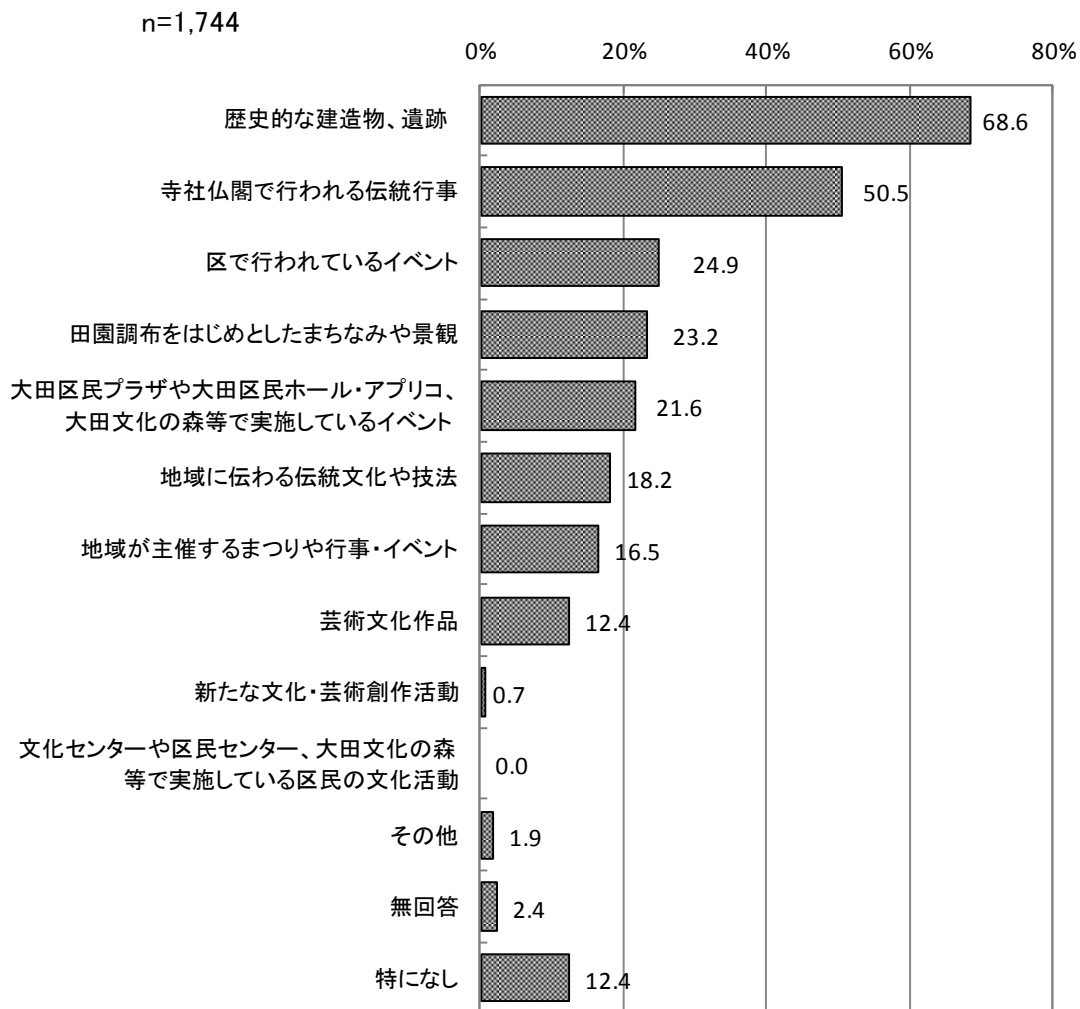
問 23 あなたはアレルギー疾患をお持ちですか。(〇は1つ)



アレルギー疾患の有無について聞いたところ、「持っている」が40.5%、「持っていない」が52.6%、「わからない」が5.5%となっている。

(11) 文化・芸術

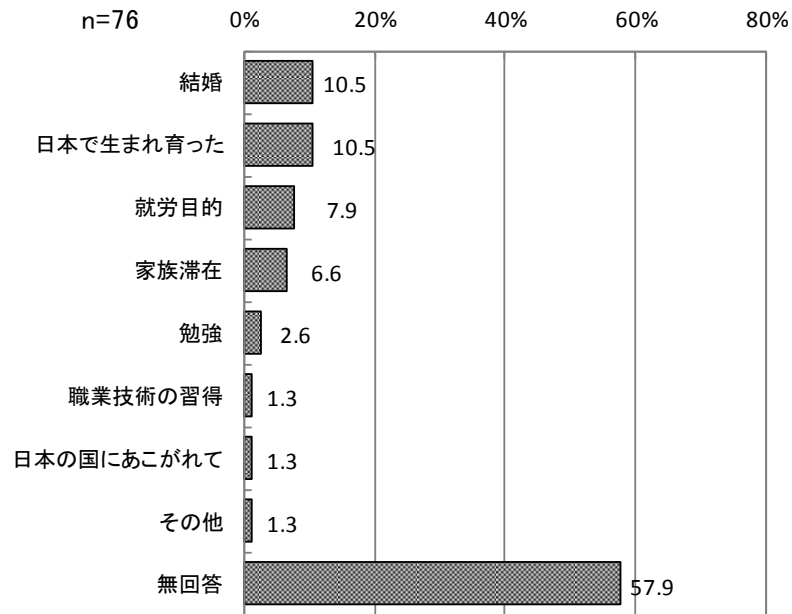
問 24 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものは、どのようなものですか。(〇はいくつでも)



大田区の文化・芸術として思い浮かぶものを聞いたところ、「歴史的な建造物、遺跡」が68.6%で最も高く、次いで「寺社仏閣で行われる伝統行事」(50.5%)、「区で行われているイベント」(24.9%)、「田園調布をはじめとしたまちなみや景観」(23.2%)、「大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等で実施しているイベント」(21.6%)となっている。

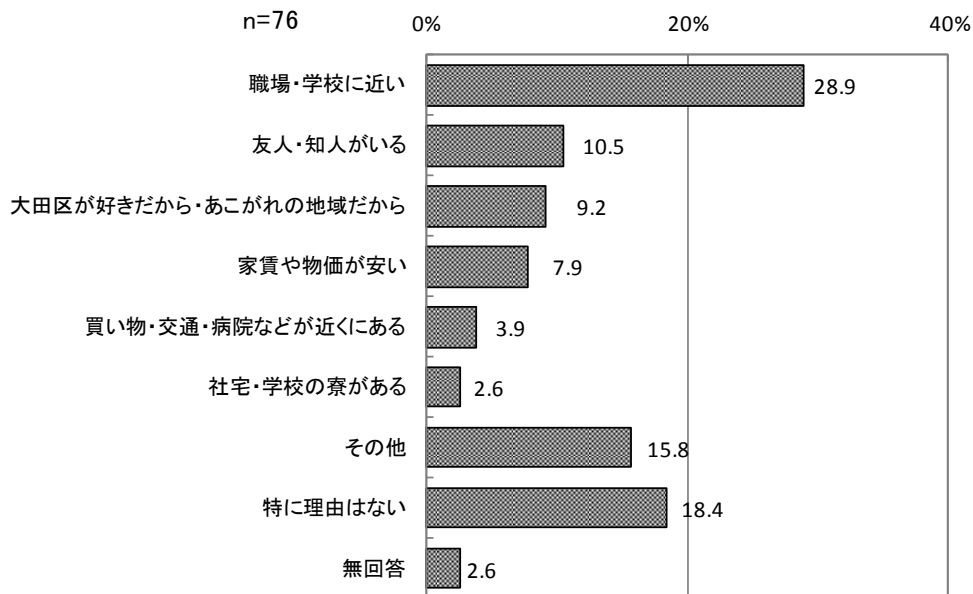
一方で、「特になし」が12.4%となっている。

【外国籍の方のみ】問 25 日本での滞在目的又は滞在の理由は何ですか。(○は1つ)



※外国籍の方の数＝「問 25 もしくは問 26 どちらかの回答があった人」として集計
 外国籍の方に日本での滞在目的又は滞在理由を聞いたところ、「結婚」と「日本で生まれ育った」が 10.5%で最も高くなっている。

【外国籍の方のみ】問 26 大田区にお住まいになっている理由は何ですか。(○は1つ)

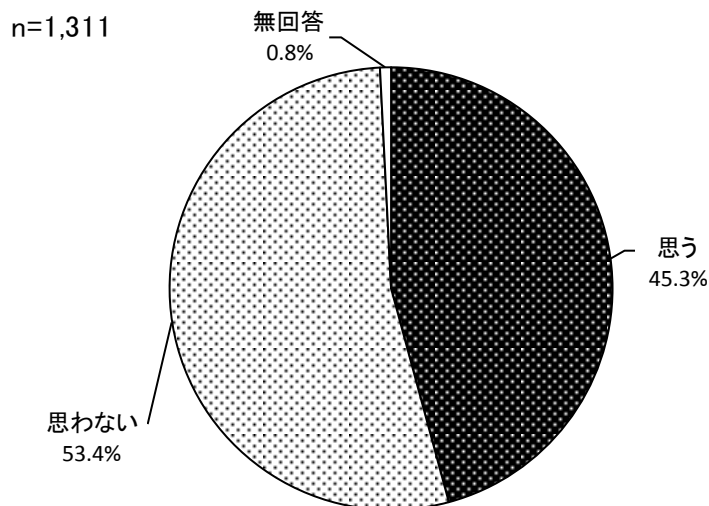


※外国籍の方の数＝「問 25 もしくは問 26 どちらかの回答があった人」として集計
 外国籍の方に大田区に住んでいる理由を聞いたところ、「職場・学校に近い」が 28.9%で最も高く、次いで「友人・知人がいる」(10.5%)、「大田区が好きだから・あこがれの地域だから」(9.2%)、「家賃や物価が安い」(7.9%) となっている。一方で、「特に理由はない」は 18.4%となっている。
 「その他」では、『妻の実家だから』などが回答されている。

「小学生以下の子の保護者の方対象」の調査結果

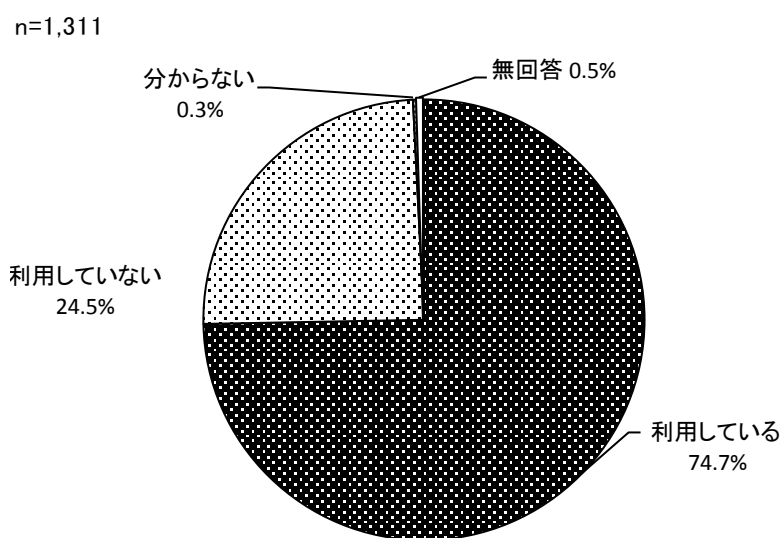
(1) 子どもの遊び場について

問1 近所の公園はお子様の遊び場として安全・安心で魅力ある場だと思いますか。(〇は1つ)



近所の公園は遊び場として魅力があるかを聞いたところ、「思う」が45.8%、「思わない」が53.4%となっている。

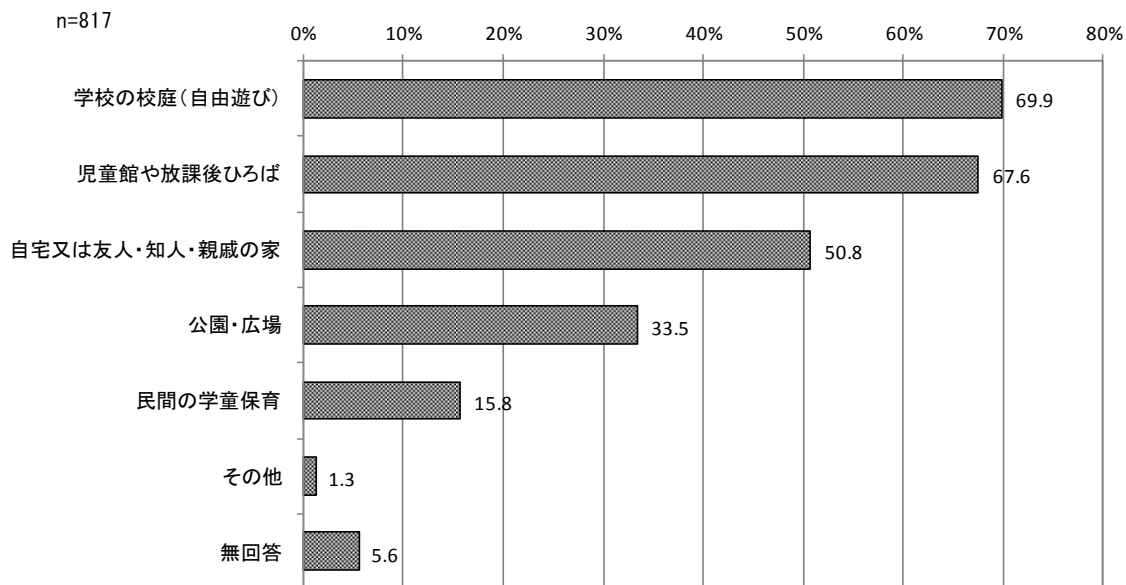
問2 お子様は近所の公園を普段利用していますか。(〇は1つ)



お子さまが普段近所の公園を利用しているか聞いたところ、「利用している」が74.7%、「利用していない」が24.5%、「分からない」が0.3%となっている。

【小学生のお子様がいる方のみお答えください】

問3 平日の放課後にお子様安心して楽しく遊べると思う場所はどこですか。(〇はいくつでも)

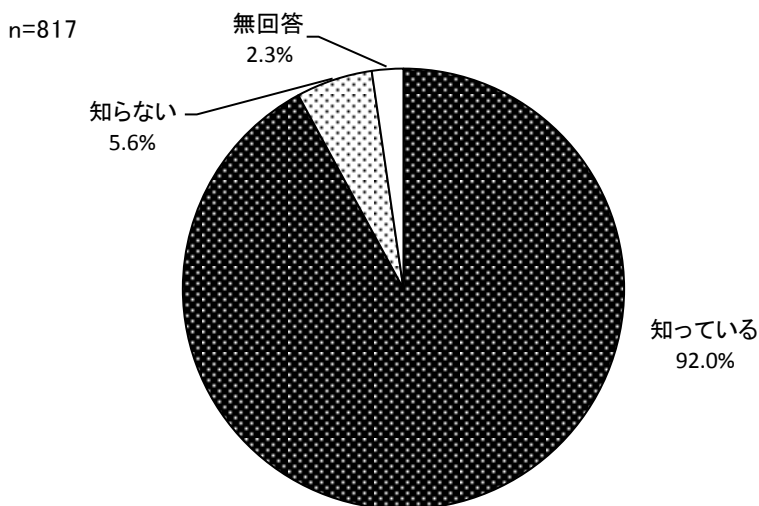


※問3～問5いずれかの回答がある人＝「小学生のお子様がいる方」として集計

平日の放課後に子どもが遊べる場所を聞いたところ、「学校の校庭（自由遊び）」が69.9%で最も高く、次いで「児童館や放課後ひろば」（67.6%）、「自宅又は友人・知人・親戚の家」（50.8%）となっている。

【小学生のお子様がいる方のみお答えください】

問4 自分のお子様普段、「誰と」遊んでいるかご存知ですか。(〇は1つ)



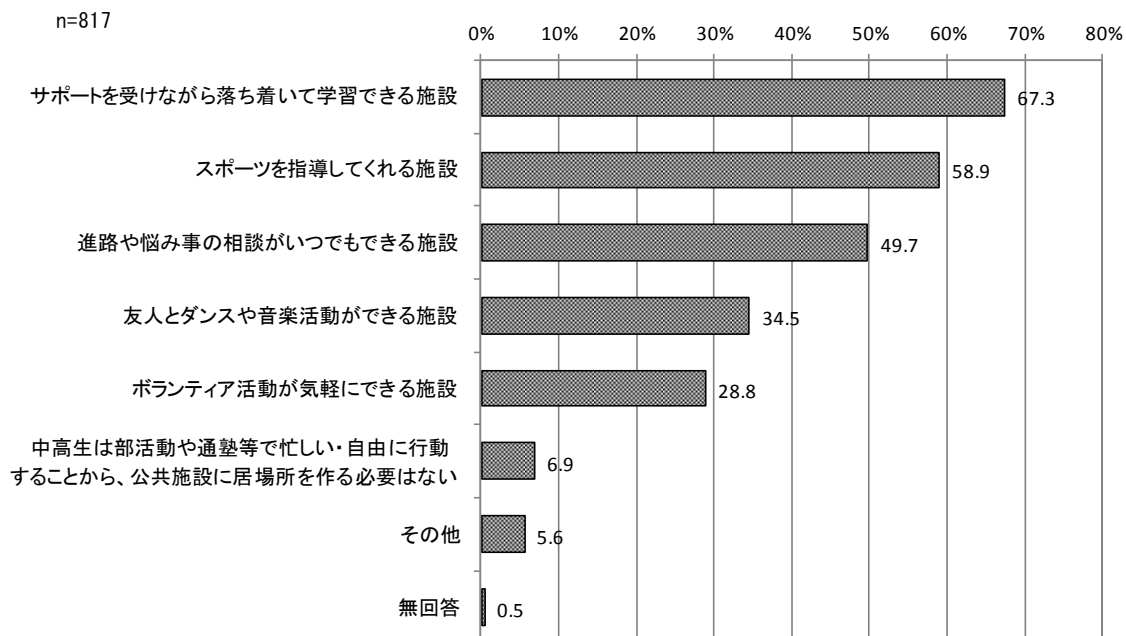
※問3～問5いずれかの回答がある人＝「小学生のお子様がいる方」として集計

自分の子どもが普段「誰と」遊んでいるか聞いたところ、「知っている」が92.0%、「知らない」が5.6%となっている。

(2) 放課後を過ごす公共施設

【小学生のお子様がいる方のみお答えください】

問5 お子様が中学生や高校生になったとき、放課後の時間を過ごす場としてどのような公共施設があればいいと思いますか。(〇はいくつでも)



※問3～問5いずれかの回答がある人＝「小学生のお子様がいる方」として集計

子どもが中学生以降になってどのような公共施設があればいいと思うか聞いたところ、「サポートを受けながら落ち着いて学習できる施設」が67.3%で最も高く、次いで「スポーツを指導してくれる施設」(58.9%)、「進路や悩み事の相談がいつでもできる施設」(49.7%)となっている。

一方で、「中高生は部活動や通塾等で忙しい・自由に行動することから、公共施設に居場所を作る必要はない」が6.9%となっている。

平成 29 年度

区の施策検証等に向けた大田区民意識調査

(区内在住の 18 歳以上の方が対象)

(小学生以下の子の保護者の方対象)

概要版

平成 30 年 3 月発行

【発行】 大田区企画経営部企画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電 話 (03) 5744-1735 (直通)

F A X (03) 5744-1502
